

孫 逸さんと私
—明確なビジョンをもっている人—

グループ O 田崎貴大

1. 第一印象：自分の考えをしっかりと持っている人

5月21日に当初のグループの予定ではカラオケに行くことになっていましたが、営業時間などの都合とお腹がすいたことから、定食屋「エム」に行先を変更してメンバーで食事を囲みながら会話をして親睦を深めることになりました。

行先を急に変更する際、ランチに行くという案が出たとき、どこに行くか、何が食べたいかという話し合いになりました。その中で、逸さんはしっかりと自分の意見を言うていただいて、そしてまた他の人の意見に耳を傾けていただいたので、話し合いを進めていく過程でとてもありがたかったです。

定食屋では、主に日本での暮らしはどうかということを知りましたが、ひとつひとつの質問に丁寧に答えていただいたので、会って間もなく、短い時間でしたが、逸さんは自分の考えをしっかりと持って、それを伝えてくれる人だと感じました。

2. 話題：将来の夢や目標

話し合いを重ねる中で、逸さんが日本に留学して日本語を勉強している理由や、今の勉強にリンクした将来の目標などをよく話していただいたので、もっと詳しく知りたい、話し合いをしたいと思いました。

私は、学ぶ専門分野の大きく分かれる大学生といっても、将来のビジョンをもって、それに向かい努力するというのとは簡単なことではないと考えています。なので、その点で逸さんの目標をもって日本へ留学し、将来の夢に向かって努力しているという姿を尊敬しています。

また、こうした勉強のことだけでなく、日本のファッションや独特の文化などにも興味をもたれそのことについてもお話を聞いてみました。

3. 話し合いの結果

① 6月18日の話し合い

この日、逸さんとは大学生活や、留学して思ったことなどを話し合いました。日本に来て大変なこともあるが楽しいということでした。

また、日本のファッションの話や趣味の話をしていく中で、多趣味な私と気が合いそうだなと思いました。特に、日本の女性のファッションはかわいいとのこと。また、逸さんはカジュアルで動きやすいもの、かわいいがラブなものが好みだということです。ですが、似合っているか不安とも言っていました。ブランドにはあまりこだわらないほうだということです。逸さんの趣味はテレビをよく見る、とりわけ日本と韓国のバラエティー番組をよく見るとのことでした。ドラマも見るとありますが、あまりセリフが早口だとなかなか聞き取るのが難しいこ

ともあるとも言うていました。

② 6月25日の話し合い

この日、逸さんとは主に今現在のアルバイトについて、将来の夢についての話をしました。逸さんはホテルの結婚式場や中国語の講師としてアルバイトをおこなっていて、やりがいがありながらも大変そうな様子で話してくれました。また、現在中国語の「講師」をしているのは、勉強している日本語の「先生」になりたいという目標にもつながっていて、意識の高い人だなと見習ってしまいました。

他にも、日本語の語学力を生かした企業に就職し、活躍したいという目標もあってすごいなと思いました。

③ 7月9日の話し合い

この日は、逸さんに日本に来てから感じたことや、今までの話し合いの中ではなしてきた将来のビジョンなどをもう一回詳しく聞いてみました。

まず、日本へ留学して気づいた文化の違いということですが、そのひとつに日本人独特の話し方があるとのことでした。日本人は話をするときには真意をはっきりと言葉にしない文化があるとのことでした。ホンネとタテマエといったことでしょうか。私も苦労したことがあります…

他にも、日本は中国に比べ先輩後輩といった上下関係がかなり厳しいとバイトなどで感じたそうです。特にバイトでは上司の言うことは絶対で、必ず聞かなくてはいけないので厳しいなと思ったそうです。確かにそうかもしれません。私自身は体育会系の人間なのでそういうことは痛いほどよくわかりますが、日本には先輩が後輩の面倒をみたり、進路をつくってあげたり、ご飯をおごってあげたりという面も多いと教えてあげました。

また、日本に来てすごいと驚いたことが、日本人はマナーが良いとのことでした。例えば、信号を守ることといった交通ルールや、ごみが少ないことなどを特に感じるということでした。

それに日本の大学生活についても特徴的な点があると言うていました。中国では大学生は勉強、勉強、勉強…らしいですが、日本では勉強以外にアルバイトであったり、友人と旅行に行ったりとたくさんの時間を使い、様々なことを体験できるのでいいと言うていました。

また、6月25日に話していただいた将来の目標についても詳しく聞いてみました。まず、今後の近い目標ですが、今回の留学の後に中国の大学院に進学したいと言うていました。あと半年後くらいに入学試験があり、試験内容としては英語と日本語が中心で、日本語にはなんと古文まで出題されるとのことでした。そろそろアルバイト減らさないとなあ～とも言うていました。大学院進学の原因としては中国で修士課程をとらなくてはならないとのこと、そのあとにまたいつか日本で勉強してもいいとも言うていました。なお、専門はメインは日本語に関すること、もしくは政治関係とのことでした。

前回の話し合いで少し疑問に思っていたことなのですが、逸さんは将来、日本語の先生になりたいのか、日本語の能力を生かして企業に就職したいのか、どちら

らの思いが強いのだろうと考えていました。聞いてみたところ、今は日本語の先生のほうになりたいとのことでした。もともと教えたりするのが好きだし、先生のほうが日本語にかかわっている時間が相対的に長いのではないかという理由からです。また、企業勤めよりも先生のほうが休みの日が多く、家族旅行などやりたいことができるので人生が充実する気がするとも言っていました。特に最後の理由は共感できるものです。

4. まとめ

逸さんと話し合いを進める中で、この人は将来のことなどいろいろなことを考えていて、実践されている方だと思いました。特に、日本語に関することや、それにまつわる夢を話していただいたとき、とても楽しそうにしていたので、本当に日本語を学ぶことが好きなんだろうなと感じました。

逸さんは話し合いの中で思っていることをひとつひとつ正直に、丁寧に答えていただいたので話していて居心地がよかったです。そして、いろいろなことに関して深く考えているようで話していて面白かったです。

また、今後の目標などをお互いに話し合う中で刺激になり、夢に向かい高い意識で万進していきたいと私自身思いました。

5. クラスについての感想

5. 1 クラスで学んだこと

このクラスでは留学生や違う学部の学生、また同じ学部の学生とコミュニケーションを重ねる中で、様々な人が私の予想しないようなことを考えていたり、文化の違いがあったりと、たとえ同じ日本人でもひとりひとりが全く違う生命体だと感じました。そして、それぞれの個性や性格、その背景となった文化を大切にし、尊重してその人に接していこうと改めて思いました。

5. 2 クラスについて

話し合いの話題や時間、進め方などはモデルテーブルがしっかりとあったのでやりやすかったのですが、レポートは結構大変でした。人数もそこそこ多く、終始楽しみながら交流を深められ大変よかったです。